

2016 12月



原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

歴史的チャンス大阪から創ろう

核兵器禁止条約の国際会議が来年に

大きな歴史的前進です。十月二十三日、国連第一委員会は、二〇一七年三月と六月に核兵器禁止条約の交渉をすすめる国際会議を開催する決議が圧倒的多数で可決されました。十二月初旬には、国連総会で可決される予定です。この国連史上初めての歴史的決議に、安倍内閣は反対票を投じ、国際社会と国民から大きな批判の声が寄せられています。今、来年開かれる「国際会議」に向けて、大阪での独自の取り組みが求められています。

国連史上
初めての歴史的快挙

毎年、マレーシアを中心とする非同盟諸国やメキシコなど新アジエンダ連合は、核兵器禁止に関する決議を提出してきました

しかし、明確に「多国間の交渉」(核兵器禁止条約をさす)ことや三月二十

七日、六月十五日と二回開催する日が入った決議が採択されたことは画期的なことです。採決は、賛成国一二三カ国、棄権

被爆国日本が
反対に抗議の声

世界中の国々から日本の態度に、世界中から批判の声があがっています。採決に反対票を投じた佐野利男・軍縮大使は

「核保有国と非核国の間に溝が生まれるので、日本としては反対しました」と、国連第一委員会の議場前で答えました。明らかにアメリカがNATOなど同盟国に「反対」

するよう圧力をかけるための文書に応えたもので、安倍内閣は否定したものの、今この文書が明らかになっており世界中から非難的になっていきます。大阪原水協は、五千枚の抗議ハガキを用意

し、安倍内閣への抗議をよびかけています。ヒバクシヤ国際署名で核保有国の包囲を

この決議を生み出したのは、被爆者と国民平和大行進や世界大会参加を取り組み続けた私たちの運動です。また粘り強く続けられた国際活動です。昨年の大阪からの百五十名のニューヨーク行動は国連第一委員会の「作業部会」設置につながりました。今こそ、被爆者とともに署名をすすめる大運動が求められています。



十六、反対は、三八カ国でした。反対国は、アメリカ、ロシアなど核保有国とその同盟国です。中国は世界の動向を重視し棄権に回り、北朝鮮は賛成国に回りました。核兵器保有国は、世界の国々に反対の工作を行いました。

ちひろカレンダー 3640本突破!

二〇一七年いわさきちひろカレンダーの普及が急ピッチで行われていきます。十一月三十日現在、3640本に到達しています。各分野ごとの到達は、くれない(新婦人)は1520本、地域原水協・各民主団体は1418本、労働組合関係が696本となっています。個人では6本となっています。今年の普及では、あらたに、ちひろカレンダーを取り組もうと。日本共産党大阪の後援会、原爆詩朗読グループ、堺市視聴覚障害者の会などが奮闘されています。「来年のカレンダーは、表紙が赤い服を着た女の子でとてもかわいし、カラフルです」の評判で、「普及しやすい」の声がたくさん届いています。いよいよ十二月に入り、カレンダー普及もラストスパートの時期。5000本めざしてがんばりましょう!

今こそヒバクシャ国際署名集めよう!

西淀川、被爆者も



JR塚本駅前ですべる松山五郎さん

十一月二十九日、西淀川原水協の署名宣伝行動が行われました。この日は、西淀川区内の千船(ちふね)、御幣島(みてじま)姫島、JR塚本駅前の四カ所を取り組まれました。西淀川原水協は、今訴えられているヒバクシャ国際署名を区民過半数二万三千筆を集めようと奮闘しています。「戦争法反対」署名は、全戸ローラー作戦を行い、区民過半数の署名を集めきりま

した。西淀川労連のスマイル西淀・執行委員長の大野正之さんは、「この大事なヒバクシャ国際署名も区民過半数をめざします」と、答えてくれました。
この署名宣伝行動には、寝屋川原爆被害者の会から被爆者の松山五郎さん(八十七歳)が参加し、被爆者として訴えられました。
「広島二中四年生で味わった生き地獄。その日

は一年生が建物疎開に三百六十人全員がなくなりました。訴えがありました。署名は四カ所合計六十筆が寄せられました。

2017年関西原水協学校・奈良

☆2017年1月28日(土)29日(日)、奈良で「2017年関西原水協学校」が開催されます。歴史的な年にふさわしい豪華講師陣から深く学びましょう。

☆第1日目 1月28日(土)

○第1講義 川田忠明・日本原水協全国担当理事
「北東アジアにおける平和と非核化の展望」

○第2抗議 藤原精吾・ノーモア・ヒバクシャ訴訟
弁護団長

「被爆者の現状とノーモア・ヒバクシャ訴訟の展望」

☆第2日目 1月29日(日)

○第3講義 安井正和・日本原水協事務局長
「核兵器のない世界のとびらを開こう」

(2017年の原水協の活動)

深く学んで元氣百倍!

2017年

全国事務局長会議で熱い討論続く

十一月二十二日・二十三日の二日間、日本原水協で「全国事務局長会議」が開かれました。大阪原水協から小松事務局長が参加し、議長を務めました。討論の内容は、「歴史的な年である2017年を

六月のニューヨーク行動をどう取り組むのか、この六月に中央集会と各県での集会などのイメージを議論しました。五月には二〇二〇年NPT準備委員会の国際活動もあり、超多忙な2017年について豊かに議論されました。組織財政の在り方も意見が出されました。

12月6・9行動 ヒバクシャ国際署名を 12月6日(火)12時~上六